



## IDF PRESS RELEASE

Belfast, 31st October 2017

### IDFプレスリリース

2017年10月31日、ベルファスト発

## 乳幼児の栄養に重要な役割を果たす乳および乳製品

妊婦には特に大切な栄養素、ヨウ素の貴重な原料は乳および乳製品であると国際酪農連盟（IDF）ワールドデーリーサミットに参集した専門家が聞いた

人間の集団の多くは様々な原料からヨウ素を摂取している。英国では乳および乳製品が最大の原料となっている。英国の生乳は、他国の生乳よりも多くのヨウ素を含んでいる。

ベルファストで開催された IDF ワールドデーリーサミットで、本日、サリー大学 University of Surrey 栄養医学部のマーガレット・レーマン Margaret Rayman 教授は、英国では多くの妊婦にヨウ素の軽度な欠乏症が存在していると述べた。



同氏は「ヨウ素は甲状腺ホルモンの生合成に必要であり、乳児の脳神経と精神活動の発達に重要な役割を果たすので、この欠乏症の存在は大変懸念しています。」と語った。

ヨウ素の食事における最大の原料は乳、ヨーグルトおよび山羊乳チーズである。

レーマン教授は「乳代替え飲料にはヨウ素の含量が非常に少ない傾向があります。妊婦が乳代替え品に切り替えるときは、普通であれば牛乳から摂取できる重要な栄養素を摂取し損じることがないように特段の注意を払う必要があります。」と附言した。

一方、ウルスターUlster 大学 NICHE（食品健康栄養イノベーションセンター）客員研究員のカースティ・プシャヒディ Kirsty Pourshahidi 氏（博士）が、ビタミンD摂取において乳および乳製品が果たす重要な役割について講演した。



IDF会長でデーリーUKの最高経営責任者のジュディス・ブライアンス氏は「ヨウ素は重要な微量栄養素ですが、消費者が見過ごすことが多くみられます。酪農乳業界にはこの認識の温度差を埋める役割があります。乳製品の栄養面の利点について消費者に教え続けることが大切です。」と述べた。

リースター大学 University of Leicester リースター王立診療所名誉上級講師児童アレルギーサービスで小児科コンサルタントのデビッド・リュイト David Luyt 氏（博士）も牛乳たんぱく質アレルギー治療の進歩状況について講演した。

翻訳：JIDF事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。